

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2014年第40週
(9月29日～10月5日)

- * 2014年10月8日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「呼吸器感染症の新指針」も記載しています。

平成26(2014)年10月9日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2014年40週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		37週	38週	39週	40週	年累計	40週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	82	55	63	73	3,067	378	19,623
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
指定	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H7N9) ^{*3}							
三類	コレラ					3	1	4
	細菌性赤痢		1		2	30	7	91
	腸管出血性大腸菌感染症	11	5	13	5	320	79	3,501
	腸チフス	3	1	2	2	24	2	42
	パラチフス					7	1	15
四類	E型肝炎	2		1		21	1	110
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1		1	1	31	2	404
	エキノコックス症							15
	黄熱							
	オウム病			1		3		8
	オムスク出血熱							
	回帰熱							1
	キャサヌル森林病							
	Q熱							1
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							1
	サル痘							
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*4}							56
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱					2		10
	つつが虫病				1	6	1	116
	デング熱	31	17	10	7	153	9	306
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								
ニパウイルス感染症								
日本紅斑熱						11	175	
日本脳炎							2	

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		37週	38週	39週	40週	年累計	40週	年累計
四 類	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症					4		10
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							1
	マラリア	4		1		24		51
	野兔病							1
	ライム病					1		10
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	1	4	5	2	83	17	938
	レプトスピラ症	1				2	1	25
ロッキー山紅斑熱								
2014/10/8集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。2014年7月26日より新たに追加指定された。

*3 2013年5月6日より新たに追加指定された。

*4 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。2013年3月4日より新たに追加指定された。

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 73件 肺結核 44件、その他の結核 8件、肺結核及びその他の結核 4件、無症状病原体保有者 15件、疑似症 2件、年齢は5歳未満 1件、10代 1件、20代 19件、30代 9件、40代 5件、50代 8件、60代 7件、70代 12件、80代 6件、90歳以上 5件、推定感染地は国内 70件、ネパール 2件、ベトナム 1件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 2件 患者 2件、菌種はソクネ 2件、年齢は20代 1件、30代 1件、推定感染地はカンボジア 1件、フィリピン 1件、推定感染経路は経口感染 2件であった。

腸管出血性大腸菌感染症 5件 患者 4件、無症状病原体保有者 1件、血清型・毒素型はO111 VT1 1件、O157 VT1・VT2 1件、O157 VT2 2件、O157 VT型不明 1件、年齢は10歳未満 1件、20代 3件、80代 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は経口感染 3件(生肉 1件、ユッケ 1件、飲料 1件)、不明 2件であった。

腸チフス 2件 患者 2件、年齢は20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 1件、インド又はネパール 1件、推定感染経路は経口感染 2件(第36週に報告された飲食店での食事 1件、海外の屋台での食事 1件)であった。

〈四類感染症〉

A型肝炎 1件 患者、年齢は30代、推定感染地はインドネシア(バリ島)、推定感染経路は経口感染(海外で喫食した魚介類)、A型肝炎ワクチン接種歴不明であった。

つつが虫病 1件 患者、年齢は40代、推定感染地は国内であった。

デング熱 7件 患者 7件、病型はデング熱 7件、血清型は1型 1件、3型 1件、不明 5件、年齢は10代 1件、20代 3件、30代 1件、40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 5件、タイ 1件、ミャンマー 1件であった。

レジオネラ症 2件 病型は肺炎型 2件、年齢は60代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は不明 2件であった。

※第37週該当分として〔四類〕デング熱 1件(40代、推定感染地は国内)、A型肝炎 1件(5歳未満、推定感染地アラブ首長国連邦(ドバイ)、経口感染、A型肝炎ワクチン接種歴なし)の追加報告があった。

※第39週該当分として〔四類〕A型肝炎 1件(50代、推定感染地国内、経口感染(魚介類)、A型肝炎ワクチン接種歴なし)の追加報告があった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2014年40週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		37週	38週	39週	40週	年累計	40週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	6	2	4	2	170	20	853
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)			1		39	5	187
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 *3				8	8	19	42
	急性脳炎 *1	1		1		38	3	360
	クリプトスポリジウム症				6	81		85
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1		10	1	130
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1			1	39	2	210
	後天性免疫不全症候群	8	9	12	10	397	18	1,165
	ジアルジア症	1		1		13		46
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 *2	1	1			19	2	153
	侵襲性髄膜炎菌感染症 *2				1	6	1	27
	侵襲性肺炎球菌感染症 *2	2	1	2	5	166	20	1,315
	水痘(入院例に限る) *3			2	2	4	4	21
	先天性風しん症候群					3	1	9
	梅毒	9	3	9	7	379	20	1,243
	播種性クリプトコックス症 *3				1	1		2
	破傷風	1	1			10		102
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					3		38
	風しん	1	1	1		87	4	290
麻しん					87	5	451	
薬剤耐性アシネトバクター感染症 *3			1		1		2	
2014/10/8集計								

*1 ウェストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*2 2013年4月1日より新たに追加指定された。

*3 2014年9月19日より新たに追加指定された。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 2件 病型は腸管 2件、年齢は30代 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は不明 2件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 8件 患者 8件、病原菌はエンテロバクター・クロアカ 6件、エンテロバクター・アエロゲネス 1件、クレブシエラ・ニューモニア 1件、年齢は5歳未満 1件、50代 1件、60代 2件、70代 2件、80代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 8件、推定感染経路は医療器具関連感染 4件(中心静脈カテーテル 1件、十二指腸ステント 1件、中心静脈カテーテル及び尿路カテーテル 1件、鼻腔留置エアウェイ 1件)、以前からの保菌 2件、手術部位感染 1件、不明 1件、90日以内の海外渡航歴なし 7件、不明 1件であった。

クリプトスポリジウム症 6件 患者 6件、年齢は20代 1件、30代 2件、40代 2件、60代 1件、推定感染地は国内 6件、推定感染経路は同性間性的接触 6件であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 血清型はA群、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は創傷感染(左下肢蜂窩織炎)であった。

後天性免疫不全症候群 10件 AIDS 2件、無症候キャリア 7件、その他 1件、AIDS患者の年齢は30代 1件、40代 1件、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 3件、30代 3件、40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 8件、不明 2件、推定感染経路は性的接触 10件(同性間 9件、両性間 1件)であった。

侵襲性髄膜炎菌感染症 1件 血清型は未実施、年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、共同生活なし。

侵襲性肺炎球菌感染症 5件 血清型はM型 1件、未実施 4件、年齢は5歳未満 1件、60代 1件、70代 1件、80代 2件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 4件、肺炎球菌ワクチン接種歴は接種なし 2件、不明 3件であった。

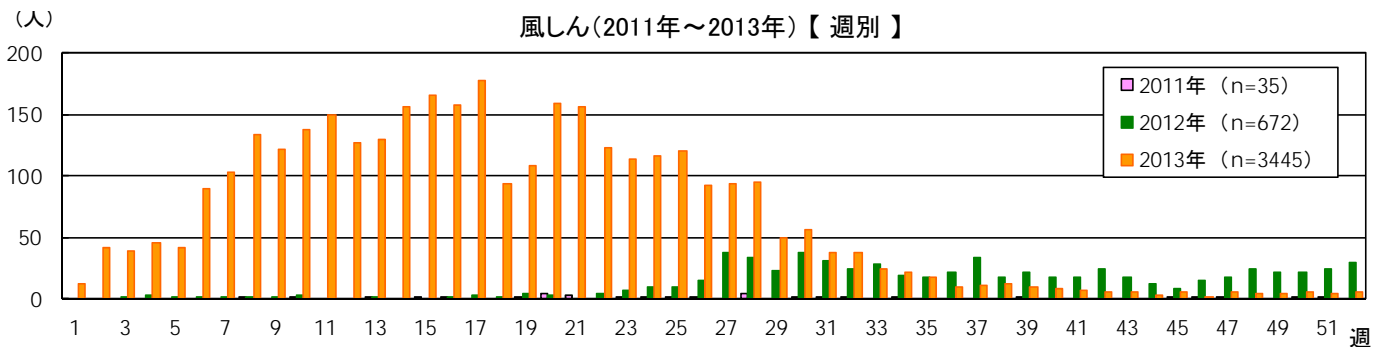
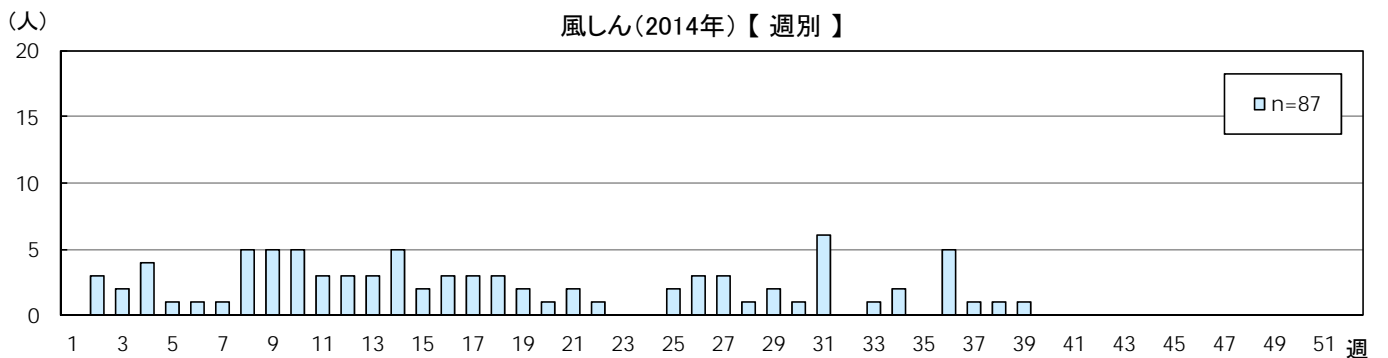
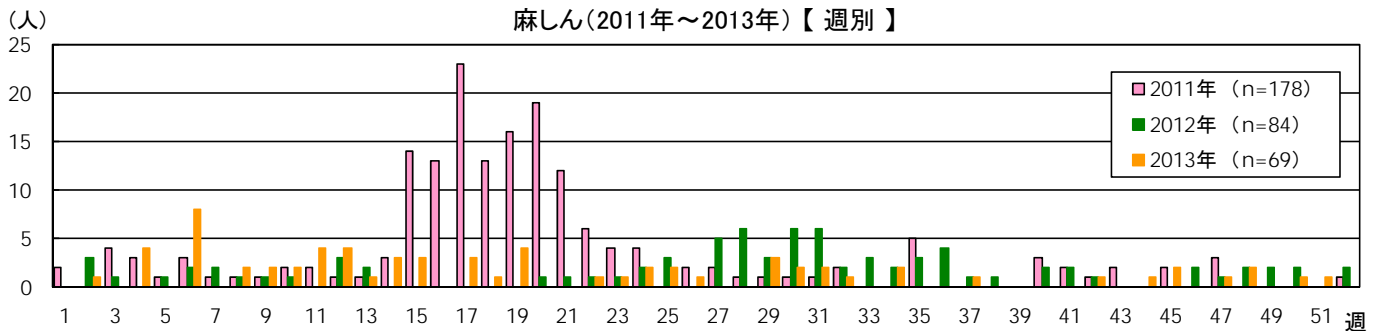
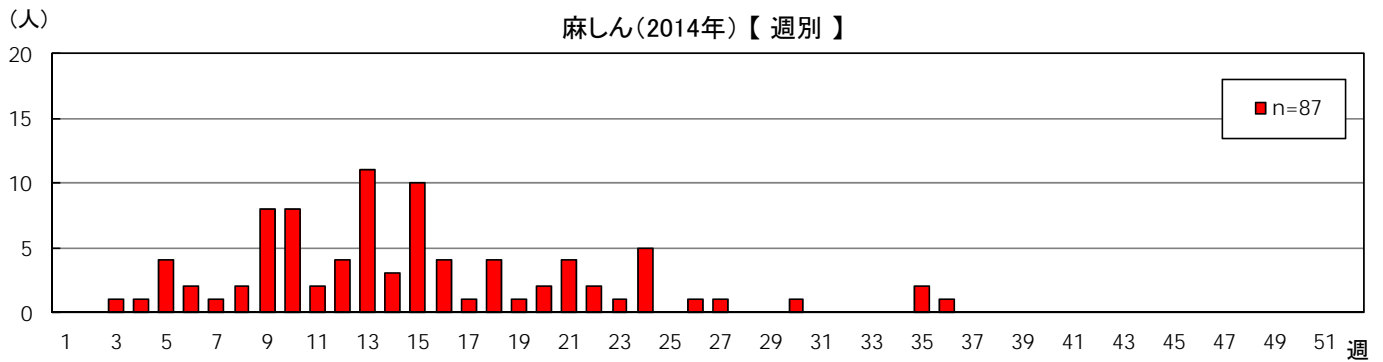
水痘(入院例) 2件 検査診断例 2件、年齢は20代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 1件、水痘ワクチン接種歴は接種なし 1件、不明 1件であった。

梅毒 7件 早期顕症梅毒Ⅱ期 4件、無症候梅毒 3件、年齢は20代 4件、30代 1件、40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 7件、推定感染経路は性的接触 6件(同性間 3件、異性間 3件)、不明 1件であった。

播種性クリプトコックス症 1件 患者、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染原因は免疫不全(肝硬変及びブステロイドの点滴)であった。

※第35週で報告のあった〔五類〕侵襲性髄膜炎菌感染症 1件は削除された。

全数把握対象疾患(麻しん・風しん)報告数(週別・保健所別)



定点把握対象疾患 報告数 2014年40週

定点種別	対象疾患	2014年					報告医療機関数	定点医療機関数
		37週	38週	39週	40週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	154	199	194	210	0.81	260	264
	咽頭結膜熱	108	92	88	53	0.20		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	339	291	338	387	1.49		
	感染性胃腸炎	943	845	840	965	3.71		
	水痘	97	106	128	114	0.44		
	手足口病	307	229	160	194	0.75		
	伝染性紅斑	100	86	82	94	0.36		
	突発性発しん	175	154	157	147	0.57		
	百日咳	3	3	4	4	0.02		
	ヘルパンギーナ	406	226	158	147	0.57		
	流行性耳下腺炎	66	56	73	74	0.28		
	川崎病 ^{*1}	3	2	3	3	0.01		
	不明発しん症 ^{*1}	41	34	23	26	0.10		
インフルエンザ	インフルエンザ ^{*2}	16	51	37	31	0.08	409	419
眼科	急性出血性結膜炎	1			1	0.03	38	39
	流行性角結膜炎	22	21	24	19	0.50		
基幹	細菌性髄膜炎 ^{*3}						25	25
	無菌性髄膜炎	5	1	7	2	0.08		
	マイコプラズマ肺炎	9	4	9	7	0.28		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) ^{*4}				1	0.04		
	インフルエンザ入院							
2014/10/8集計								

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。2013年42週より開始

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、過去5年平均より高い値で推移している。
- ・ 伝染性紅斑の定点当たり報告数は、過去5年平均より高い値で推移している。

(定点医療機関からのコメント)

新宿区

- ・インフルエンザA型 1名

品川区

- ・インフルエンザB型 1名

世田谷

- ・マイコプラズマ肺炎 5名、アデノウイルス感染症 2名
- ・EBウイルス感染症 1名

渋谷区

- ・インフルエンザA型 1名

中野区

- ・インフルエンザA型 1名

池袋

- ・ヒトメタニューモウイルス感染症 1名

板橋区

- ・病原性大腸菌 O1、O15、O125 各1名

荒川区

- ・RSウイルス感染症が流行しています。
- ・サルモネラO6 1名、病原性大腸菌 O6、O8、O25、O86 各1名
- ・病原性大腸菌 O6、カンピロバクター 各1名

練馬区

- ・インフルエンザA型、B型 各1名
- ・インフルエンザA型 3名
- ・インフルエンザA型 1名

八王子市

- ・アデノウイルス感染症 3名
- ・アデノウイルス胃腸炎 1名、アデノウイルス咽頭炎 3名

多摩小平

- ・マイコプラズマ肺炎 1名
- ・病原性大腸菌 5名、マイコプラズマ肺炎 3名

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2014年40週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	21			19	4	5		4	1	2	
6～11か月	37	2	2	66	8	12	1	52		15	
1歳	104	12	8	137	16	57	3	69		34	1
2歳	30	11	20	88	20	37	5	16	2	27	5
3歳	9	6	33	84	10	22	12	1	1	26	8
4歳	6	5	67	90	12	23	14	4		14	10
5歳	1	5	48	82	14	15	21	1		11	13
6歳	2	3	55	60	14	7	11			5	12
7歳			45	38	10	2	11			6	7
8歳		2	29	46	1	2	9			3	4
9歳		1	17	28	1	3	1				5
10～14歳		4	39	105	4	2	2			2	7
15～19歳			4	23		1					
20～29歳		2	20	99		6	4			2	2
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	210	53	387	965	114	194	94	147	4	147	74
先週比	16	-35	49	125	-14	34	12	-10		-11	1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月		1					2				
6～11か月	1	5			1						
1歳	1	9			1						
2歳	1	4			1						
3歳		3	2					1			
4歳		1	1					1		1	
5歳		1						1			
6歳			1	1							
7歳			2								
8歳			3								
9歳		1	3								
10～14歳			8		2			1			
15～19歳			1		1						
20～29歳		1	1		4			2			
30～39歳			2		5			1			
40～49歳			5		2						
50～59歳					1						
60～69歳			2		1						
70～79歳											
80歳以上											
合計	3	26	31	1	19		2	7		1	
先週比		3	-6	1	-5		-5	-2		1	

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2014年40週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田				0.67		0.33				0.33	0.33
中央区	1.33		1.33	7.67			0.33	0.67		0.67	
みなと	2.17	0.33	1.17	1.33		0.83		0.67		0.50	
新宿区	4.25	0.25	1.25	2.00				0.25		0.25	0.13
文京	0.25		0.75	1.00	0.25	0.50	0.25	1.00			0.75
台東	0.75	0.50	0.75	5.25		1.75				1.25	
墨田区	0.60		1.20	0.40		1.00	0.20	0.60		1.40	
江東区	0.56	0.22	1.00	6.89	1.33	0.67	0.89	1.11		1.78	0.11
品川区	0.25		1.00	3.63	0.13	0.13	0.50	0.88		0.50	
目黒区	0.60		0.20	4.00		0.60	0.40				0.20
大田区	0.92	0.31	1.08	7.08	0.46	0.62	0.23	1.31		0.77	0.46
世田谷	0.19	0.38	0.81	2.75	0.44	1.44	0.44	0.44		0.56	0.06
渋谷区	0.50		0.50	2.50			0.25	0.25		0.25	
中野区	0.33		1.33	4.33		0.83	0.17	0.67		0.50	0.67
杉並	0.36	0.09	0.36	2.45	0.09	0.18	0.73	0.09		0.18	0.27
池袋	2.20		0.60	1.80	0.20	0.60	0.60		0.20	0.60	0.40
北区			0.43	3.43		0.29	0.14	0.57		0.29	0.29
荒川区	4.50	1.00	2.25	4.50		1.50		0.75		2.00	0.25
板橋区			0.10	2.00	1.30	1.20	0.10	0.60		0.40	0.40
練馬区	0.25	0.08	1.83	1.00	0.42	0.50	0.75	0.67		0.83	0.17
足立	0.77	0.31	1.15	5.62	0.15	1.46	0.38	0.31	0.15	0.23	1.23
葛飾区	1.13		1.00	4.75	0.38	2.38		0.88		0.50	0.13
江戸川	0.73	0.27	1.09	4.64	0.45	0.27	0.18	0.36		0.27	0.18
八王子市	1.73	0.73	4.73	6.27	0.64	0.55	0.91	0.55	0.09	0.27	0.36
町田市	0.13	0.25	4.13	7.75	0.63	1.13	1.38	0.88		0.75	0.38
西多摩	0.25	0.13	0.25	2.38	1.00	0.25	0.25	0.13		0.50	0.75
南多摩	1.44	0.33	2.44	2.78	0.11	0.89	0.33	0.78		0.33	0.11
多摩立川	0.71	0.21	3.36	2.93	0.86	0.71	0.21	0.64		0.43	0.07
多摩府中	0.16	0.05	1.32	3.42	0.47	0.53	0.16	0.63		0.79	0.21
多摩小平	0.80	0.27	2.73	3.53	1.00	0.73	0.27	0.47		0.53	0.27
島しょ											
東京都	0.81	0.20	1.49	3.71	0.44	0.75	0.36	0.57	0.02	0.57	0.28

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			0.25								
中央区					1.00						
みなと											
新宿区		0.13	0.08					0.50			
文京					2.00						
台東											
墨田区	0.20	0.40			1.00						
江東区		0.22									
品川区		0.13	0.08								
目黒区											
大田区			0.05								
世田谷		0.38	0.08		0.50		0.50				
渋谷区			0.14		1.00			2.00			
中野区			0.10		3.00						
杉並			0.06								
池袋					1.00						
北区											
荒川区	0.50										
板橋区					1.00			1.00			
練馬区			0.47		0.50						
足立		0.15		0.50							
葛飾区		0.13								1.00	
江戸川			0.17		0.50						
八王子市		0.18			0.50			1.00			
町田市		0.75									
西多摩					1.00						
南多摩											
多摩立川											
多摩府中		0.11	0.35				0.33				
多摩小平		0.07			1.50			1.00			
島しょ											

東京都	0.01	0.10	0.08	0.03	0.50		0.08	0.28		0.04	
-----	------	------	------	------	------	--	------	------	--	------	--

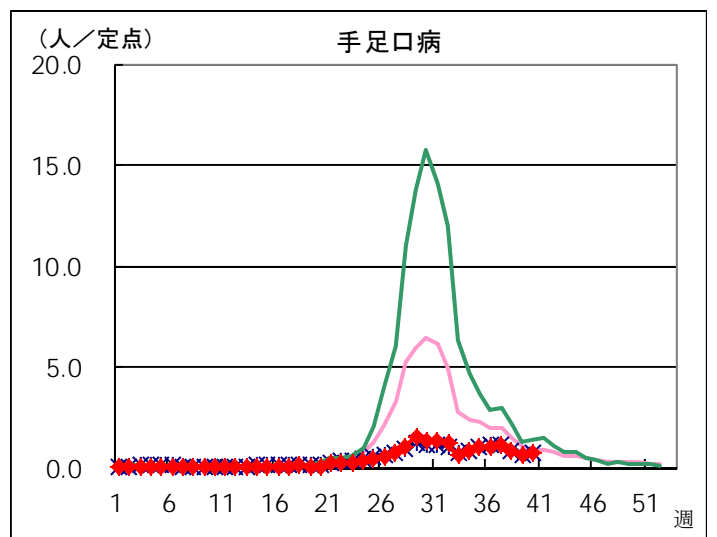
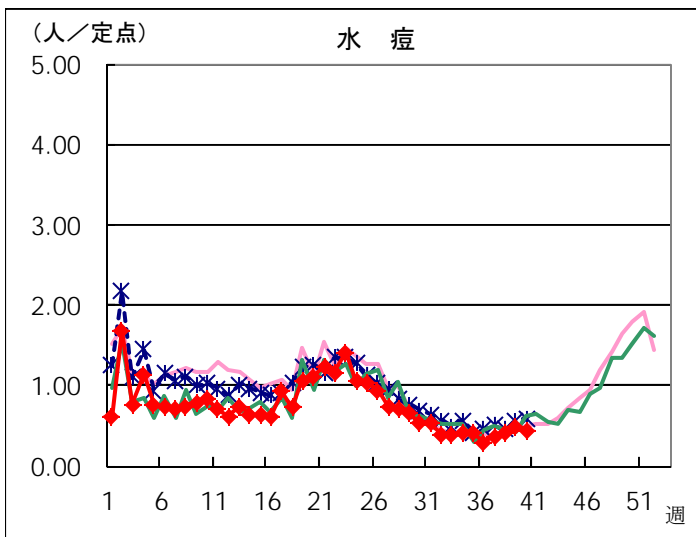
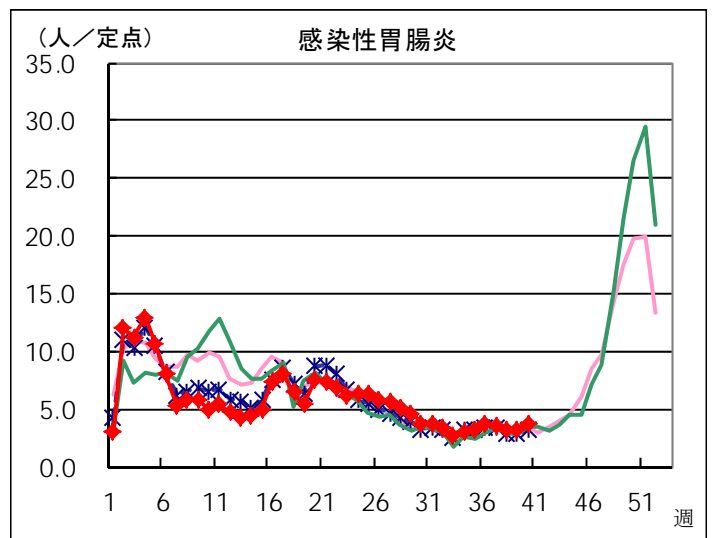
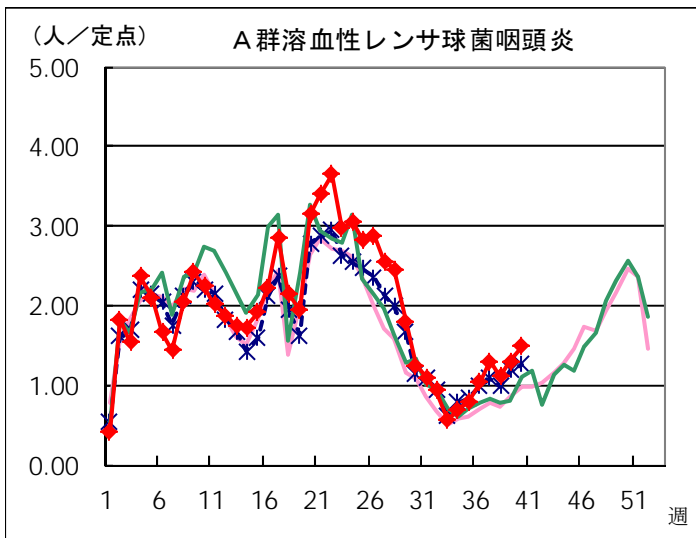
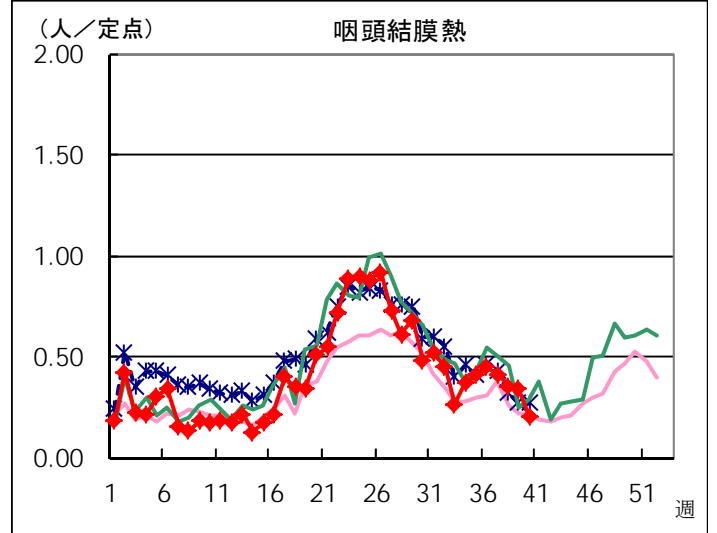
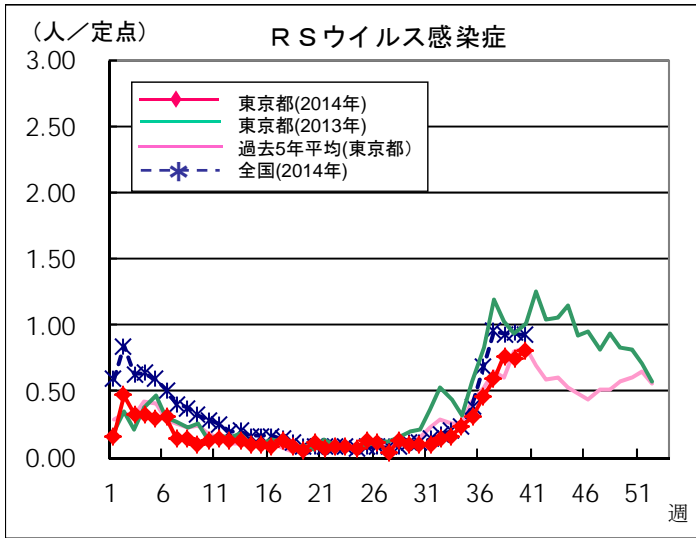
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2014年40週

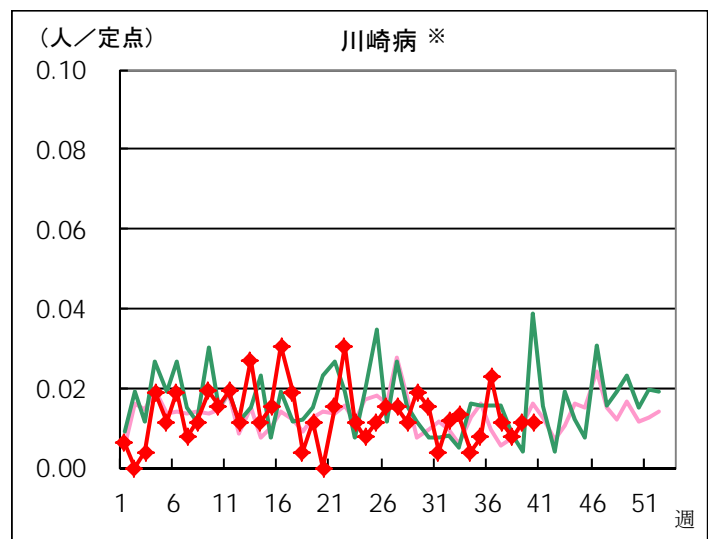
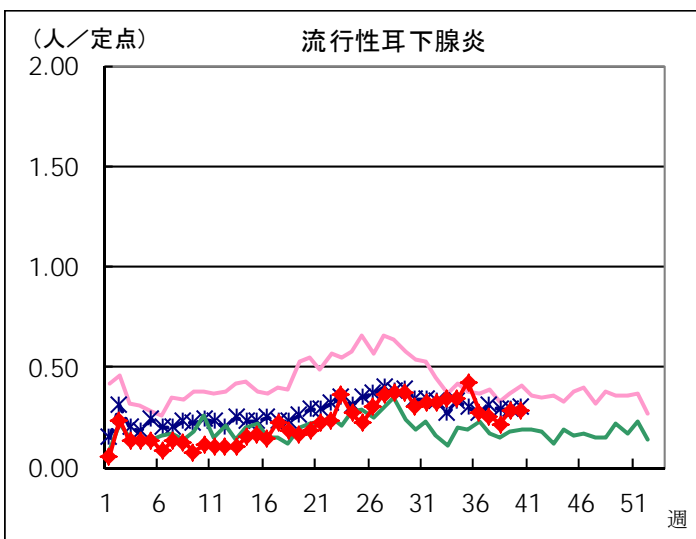
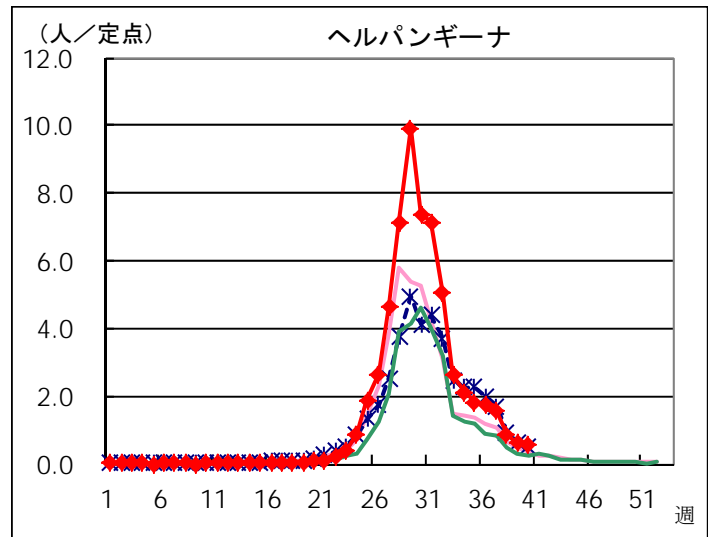
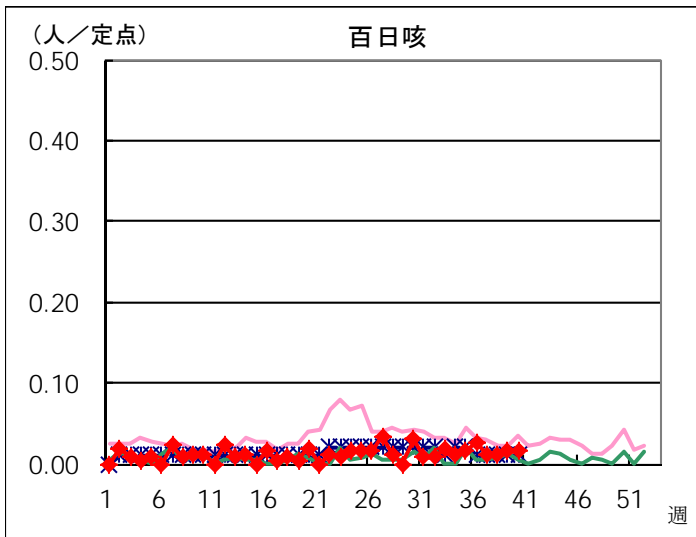
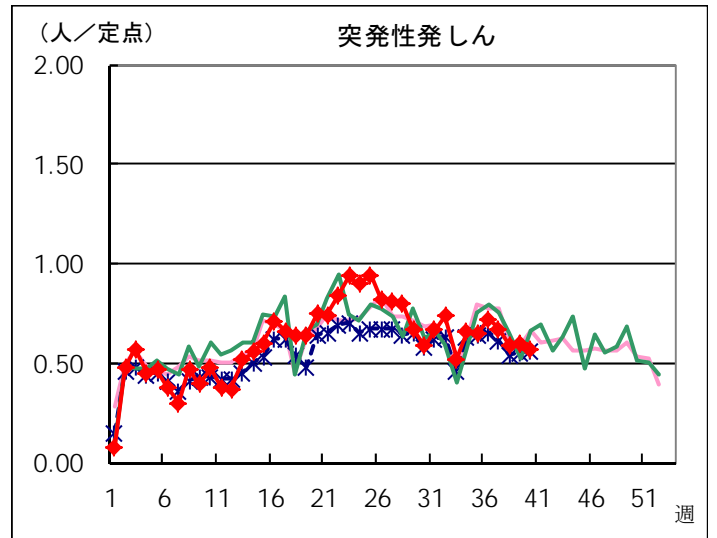
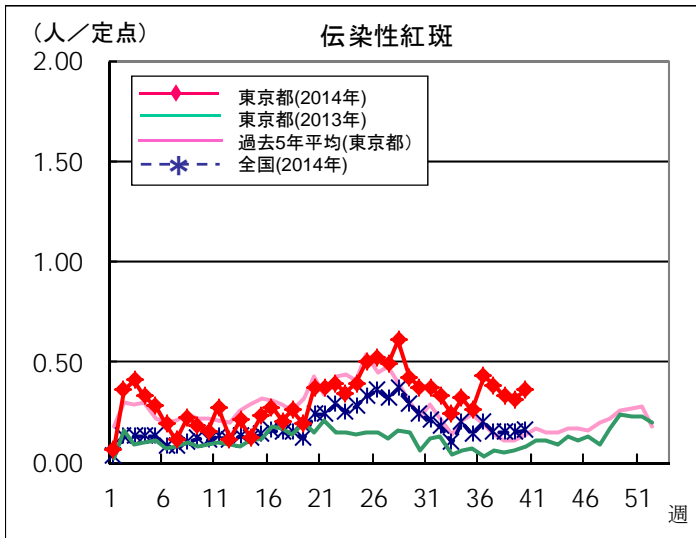
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田				2		1				1	1
中央区	4		4	23			1	2		2	
みなと	13	2	7	8		5		4		3	
新宿区	34	2	10	16				2		2	1
文京	1		3	4	1	2	1	4			3
台東	3	2	3	21		7				5	
墨田区	3		6	2		5	1	3		7	
江東区	5	2	9	62	12	6	8	10		16	1
品川区	2		8	29	1	1	4	7		4	
目黒区	3		1	20		3	2				1
大田区	12	4	14	92	6	8	3	17		10	6
世田谷	3	6	13	44	7	23	7	7		9	1
渋谷区	2		2	10			1	1		1	
中野区	2		8	26		5	1	4		3	4
杉並	4	1	4	27	1	2	8	1		2	3
池袋	11		3	9	1	3	3		1	3	2
北区			3	24		2	1	4		2	2
荒川区	18	4	9	18		6		3		8	1
板橋区			1	20	13	12	1	6		4	4
練馬区	3	1	22	12	5	6	9	8		10	2
足立	10	4	15	73	2	19	5	4	2	3	16
葛飾区	9		8	38	3	19		7		4	1
江戸川	8	3	12	51	5	3	2	4		3	2
八王子市	19	8	52	69	7	6	10	6	1	3	4
町田市	1	2	33	62	5	9	11	7		6	3
西多摩	2	1	2	19	8	2	2	1		4	6
南多摩	13	3	22	25	1	8	3	7		3	1
多摩立川	10	3	47	41	12	10	3	9		6	1
多摩府中	3	1	25	65	9	10	3	12		15	4
多摩小平	12	4	41	53	15	11	4	7		8	4
島しょ											
東京都合計	210	53	387	965	114	194	94	147	4	147	74

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			1								
中央区					1						
みなと											
新宿区		1	1					1			
文京					2						
台東											
墨田区	1	2			1						
江東区		2									
品川区		1	1								
目黒区											
大田区			1								
世田谷		6	2		1		1				
渋谷区			1		1			2			
中野区			1		3						
杉並			1								
池袋					1						
北区											
荒川区	2										
板橋区					2			1			
練馬区			8		1						
足立		2		1							
葛飾区		1								1	
江戸川			3		1						
八王子市		2			1			1			
町田市		6									
西多摩					1						
南多摩											
多摩立川											
多摩府中		2	11				1				
多摩小平		1			3			2			
島しょ											
東京都合計	3	26	31	1	19		2	7		1	

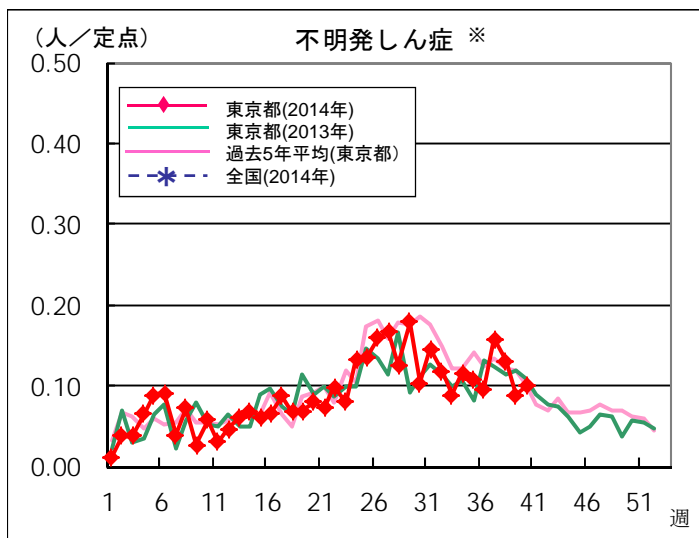
定点把握対象疾患 週別報告数(2014年40週 現在)

◆ 小児科定点



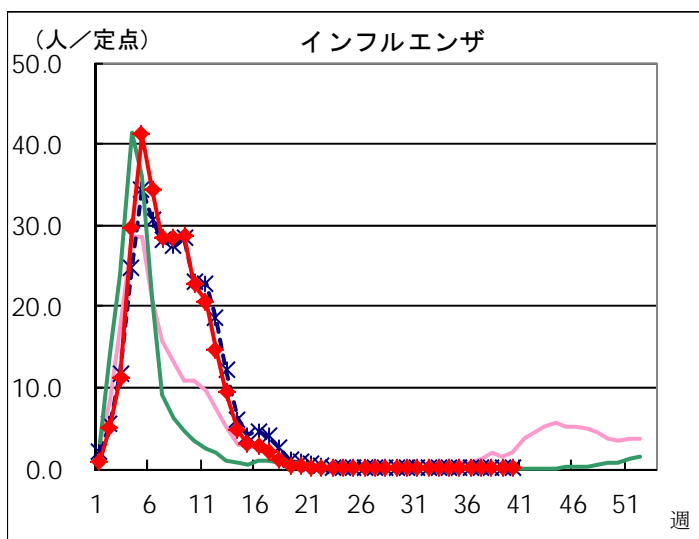


※ 東京都独自対象疾患

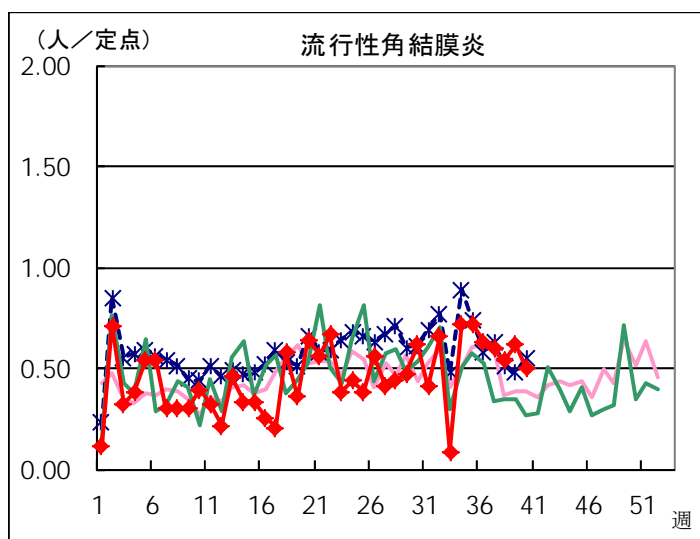
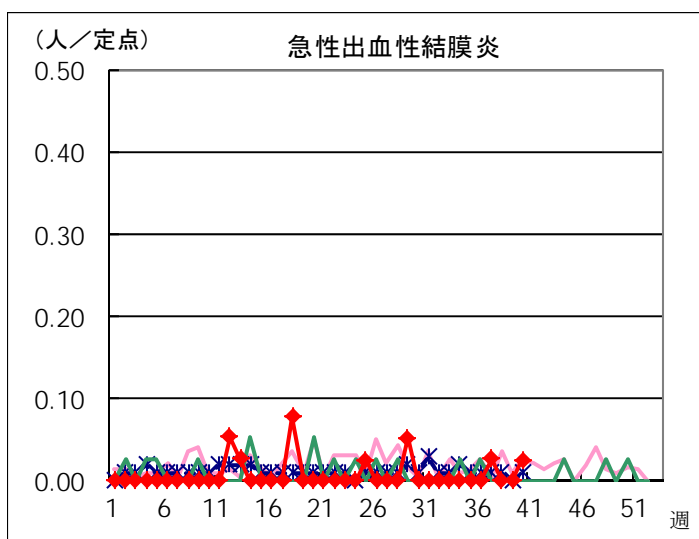


※ 東京都独自対象疾患

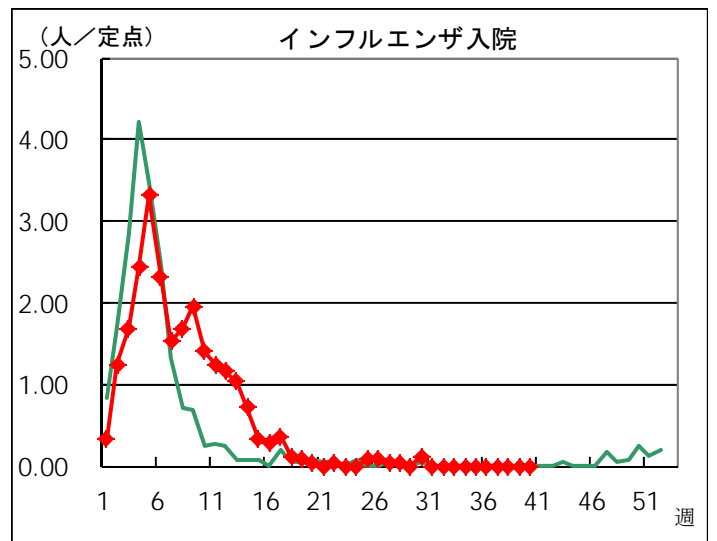
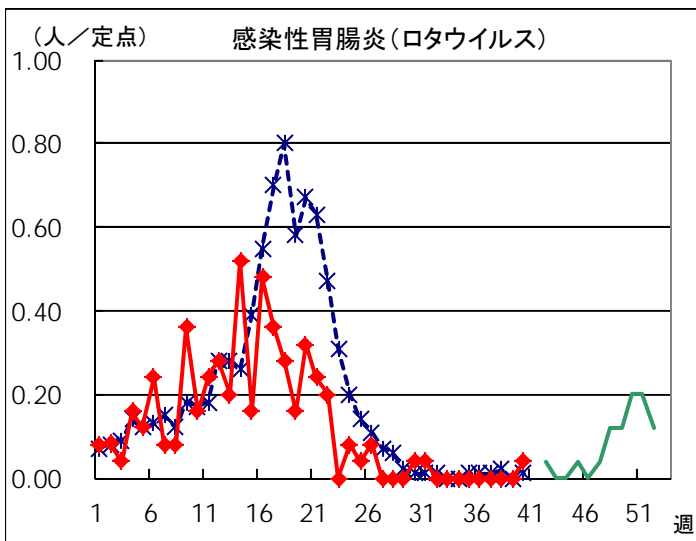
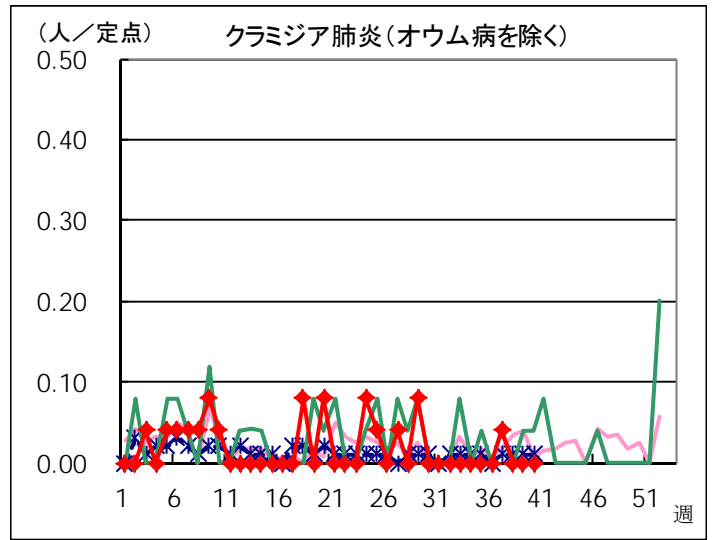
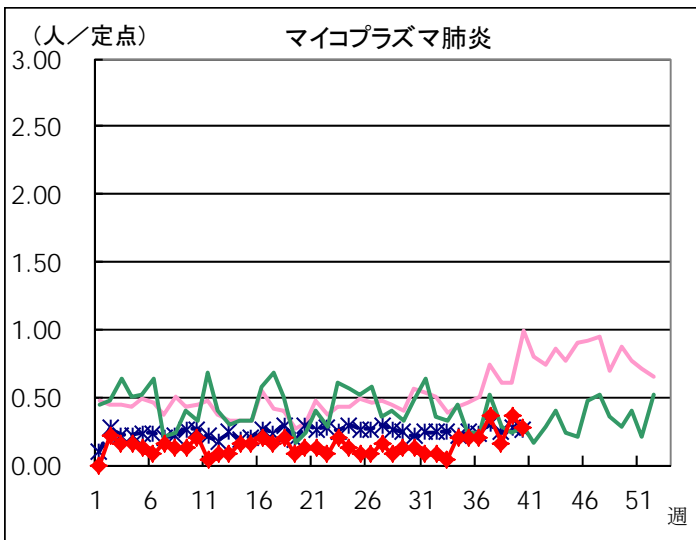
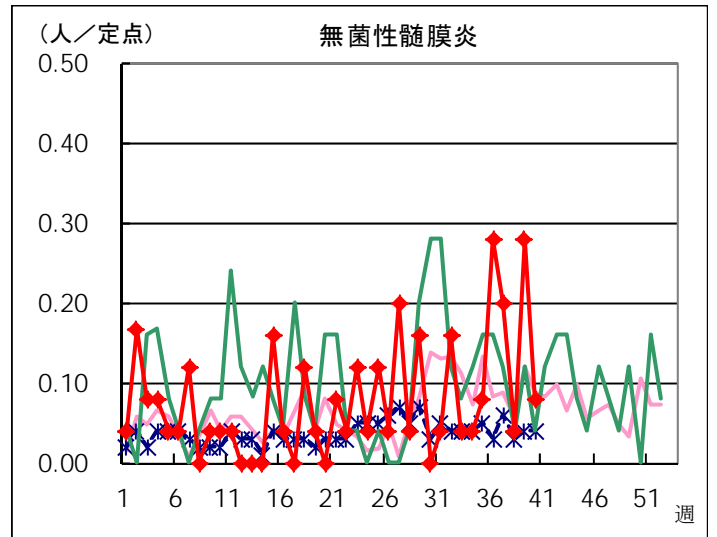
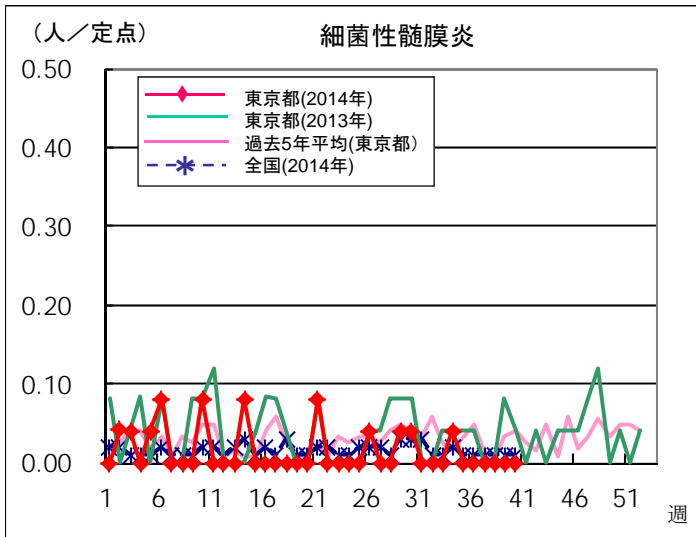
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
9/19	髄膜炎	1M	髄液	エンテロウイルス
9/24	咽頭炎	2M	咽頭拭い液	エコーウイルス 11型
9/20	急性気管支炎	8M	咽頭拭い液	アデノウイルス ライノウイルス
9/22	気管支炎	1	鼻汁	ライノウイルス
9/24	手足口病	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群16型
9/24	熱性けいれん	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群5型 ヒトヘルペスウイルス 6型
9/22	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ライノウイルス
9/20	流行性耳下腺炎	2	咽頭拭い液	ライノウイルス EBウイルス
9/21	無菌性髄膜炎	4	髄液	ムンプスウイルス
9/24	髄膜炎	5	髄液	エコーウイルス 30型
9/22	気管支炎	8	咽頭拭い液	エンテロウイルス
9/17	インフルエンザ疑い	28	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群21型
9/12	流行性角結膜炎	68	結膜拭い液	アデノウイルス
9/22	肺炎	記載なし	咽頭拭い液	エンテロウイルス 68型

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

39週はインフルエンザウイルスが検出されませんでした。

	AH1pdm09 ^{*1}	AH1亜型	AH3亜型	B型
39週				
2014-2015年 シーズン累計 ^{*2}			2	

*1 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記を AH1pdm09 とする。

*2 2014-2015年シーズンの開始は第36週(2014年9月1日～)

病原体検出情報 【週別】

検出病原体	2014年							
	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週
アデノウイルス	7	2	2	25	5	7	12	2
ライノウイルス	2		1		4	2	3	4
ポリオウイルス								
コクサッキーウイルスA群	1	5	4	3	5	7	6	3
コクサッキーウイルスB群		2				3	1	
エコーウイルス	4	2	4	1	2	4	1	2
エンテロウイルス71	1		1		3			
その他のエンテロウイルス	4	1	8	2		4	4	3
単純ヘルペスウイルス	1							
水痘・帯状疱疹ウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	1			5	5	9	1	1
EBウイルス	1		1	2	2			1
サイトメガロウイルス					1		1	
ムンプスウイルス	3	3	1	2		1	2	1
麻疹ウイルス								
風疹ウイルス				2	1			
ヒトパルボウイルスB19				2	1			
RSウイルス								
ノロウイルス				1				
ロタウイルス	1							
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型				1	1	1		
インフルエンザウイルスB型								
インフルエンザウイルスAH1pdm09								
デングウイルス(抗体を含む)								
その他のウイルス	4	4	3	9	2	3		
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2014年32週～2014年39週

	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他
搬入検体数	18	35	19	8	82	15	10	12	19	3	48	14				29
アデノウイルス	1	9	8	1	1	9	6	2		1	13	3				8
ライノウイルス		3	2			3		1	2		3	1				1
ポリオウイルス																
コクサッキーウイルスA群	5	5	1		2	1		7	9		4					
コクサッキーウイルスB群		1			5											
エコーウイルス		1			10	1			1		5					2
エンテロウイルス71					1				3							1
その他のエンテロウイルス		2	3		6			3	2	1	3	2				4
単純ヘルペスウイルス					1											
水痘・带状疱疹しんウイルス																
ヒトヘルペスウイルス6型・7型					2	1		1			14					4
EBウイルス						1						4				2
サイトメガロウイルス												1				1
ムンプスウイルス					2							10				1
麻疹ウイルス																
風しんウイルス											3					
ヒトパルボウイルスB19										2	1					
RSウイルス																
ノロウイルス				1												
ロタウイルス				1												
インフルエンザウイルスAH1亜型																
インフルエンザウイルスAH3亜型	3															
インフルエンザウイルスB型																
インフルエンザウイルスAH1pdm09																
デングウイルス(抗体を含む)																
その他のウイルス		8	6	1	8	1										1
その他の病原体																

<感染症豆知識>

呼吸器感染症の新指針

日本感染症学会と日本化学療法学会では、2001年に「抗菌薬使用の手引き」、2005年に「抗菌薬使用のガイドライン」、2012年に「JAID/JSC 感染症治療ガイド 2011」を公表した。このほど新たに「JAID/JSC 感染症治療ガイドライン—呼吸器感染症—」が公表された。今回のガイドラインは呼吸器感染症全般を広く網羅し、成人と小児を分けて記載し、EBMに基づき作成されている。

呼吸器感染症は、新たな耐性菌の増加とともに原因微生物の種類が多岐にわたり、免疫不全患者の増加により病態が多様化している。治療の場が外来からICUと様々で、医療・介護関連肺炎という新たな疾患概念も加わった。治療する医師は開業医、勤務医、呼吸器科医、感染症専門医など多彩であり、使用できる抗菌薬の選択肢が膨大であり、治療方針が混然としている。また、PK-PDの概念が拡がり、科学的に抗菌薬を使用することが重要視されている。新ガイドラインでは「JAID/JSC 感染症治療ガイド 2011」の呼吸器感染症の項をベースにし、各疾患項目毎にExecutive summaryと蓄積された臨床研究に基づく詳細な解説が加わり、新たな耐性菌や新たな疾患概念に対応した治療法も提示されている。薬剤名と投与量が具体的に示されており、日常診療で遭遇するほとんどの呼吸器感染症に容易に対応できるものとなっている。このガイドラインを手元に置くことによって、間違いのない治療の選択が可能となるであろう。7月31日にはさらに改訂を加えた「呼吸器感染症治療ガイドライン」が発刊され、日本感染症学会に申し込むことにより購入できる。

(文責 国立病院機構東京病院呼吸器センター 永井英明)